

「すぐに施策に生かせるもの」「検討を必要とするもの」「将来的な課題となるもの」「実現不可能なもの」など、寄せられる声には様々なものがあります。その一つひとつが「さんようおのだ」のまちづくりに生きています。

市民一人ひとりの声を大切にし、住んで良かったと思えるまち「さんようおのだ」をつくりまします。

3歳未満児を安心して遊ばせられる遊具を

2歳の子がいます。天気の良い日は公園に出かけますが、どの遊具も危ない気がします。3歳未満の子が安心して遊べる遊具を作ってください。



【回答】都市計画課

公園は、気軽に誰もが利用できるという開放性があるため、幅広い年齢層の人に利用されており、その利用方法も様々です。

また、公園内の遊具については、国土交通省の「都市公園における遊具の安全確保に関する指針」に基づいて設置・管理しています。この指針の中で対象となる遊具の利用者は幼児から小学生（おおむね3歳から12歳）を基準とし、身体能力が十分でない幼児（おおむね3歳から小学校就学前の子）については、保護者が同伴していることを前提としています。

しかしながら、このたびの貴重なご意見を参考にしつつ、今後、遊具等を設置する際には乳幼児でも比較利用しやすいようなものも検討していきたいと考えています。

そのほかの「声」の一部

- ・市内に道の駅を作してほしい
- ・交差点に信号機を設置してほしい
- ・自治会内にある空き地を有効に利用する方法はないか
- ・市役所のカウンターに貼ってあるポスターは通行の支障になるため撤去してほしい
- ・ゴミの不法投棄がなくなるように啓発してほしい

- ・公園駐車場の凸凹を直してほしい
- ・老朽化した自治会館を修繕するので経費を補助してほしい
- ・海岸の堤防を高くしてほしい
- ・江汐公園にスケートパークを作してほしい
- ・歯の優良者コンクールを実施してほしい
- ・学校周辺一帯を禁煙にほしい
- ・JR小野田線の利用促進を図り活性化してほしい
- ・JRの駅に洋式トイレを設置してほしい

たくさんのご意見・ご要望ありがとうございました。
お寄せいただいた「声」は今後のまちづくりに生かしていきます。